

第2回別府港港湾脱炭素化推進協議会

日時：令和7年3月25日（火）10:30～12:00

場所：別府港県営3号上屋 2階大会議室

議事次第

1 開 会

2 議 事

- （1） 第1回別府港港湾脱炭素化推進協議会の振返り
- （2） 別府港港湾脱炭素化推進計画の基本的事項
- （3） アンケート等調査結果
- （4） 別府港港湾脱炭素化推進計画の基本方針
- （5） 今後の取組

3 閉 会

第2回 別府港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

日 時 : 令和7年3月25日(火) 10時30分～12時00分

場 所 : 別府港県営3号上屋 2階大会議室

開催形式: 対面

【議事概要】

議事(1): 第1回別府港港湾脱炭素化推進協議会の振返り

事務局より、第1回港湾脱炭素化推進協議会の議事等について説明。

議事(2): 別府港港湾脱炭素化推進計画の基本的事項について(別紙1)

事務局より、計画期間・目標年次を短期2030年、中期2040年、長期2050年に設定すること、対象範囲を既設の土地の内、港湾計画によって土地利用計画が定められている部分を主として設定することを説明し、了解をいただいた。

議事(3): アンケート等調査結果について

事務局より、アンケート調査結果の概要と結果を説明。アンケート調査結果により、別府港に立地する複数の企業で脱炭素化、低炭素化に向けた取組が行われていること等を説明。

議事(4): 別府港港湾脱炭素化推進計画の基本的方針について(別紙2)

事務局より、CNP形成にあたり、別府港の特徴等を考慮し、目指すべき将来像「①サプライチェーンの脱炭素化を推進し、荷主企業や船会社等から選ばれる港湾へ」、「②ターミナル内の脱炭素化の取組を推進し、脱炭素社会の実現に貢献」と、それぞれに向けた取組方針「①サプライチェーンの脱炭素化の取組を可能とする港湾機能の高度化」、「②脱炭素化された港湾ターミナルの形成」を説明し、了解をいただいた。

議事(5): 今後の取組について

事務局より、第3回の協議会での検討事項を説明し、アンケートやヒアリングへの協力依頼を行った。

以上

計画期間、目標年次、計画対象範囲

別紙 1

○ 計画期間、目標年次

短期目標：2030年度、中期目標：2040年度、長期目標：2050年度

○ 対象範囲

- ・ 公共ターミナルのみで専用ターミナルがない
- ・ 港湾計画において土地利用が定められている区域外に立地している企業の港湾利用はない

➡ { 海域：港湾区域
陸域：港湾計画において土地利用が定められている区域



目指すべき将来像①

サプライチェーンの脱炭素化を推進し、荷主企業や船会社等から選ばれる港湾へ

目指すべき将来像①のための取組方針

① サプライチェーンの脱炭素化の取組を可能とする港湾機能の高度化

- ・ LNGを燃料とする船舶への燃料供給
- ・ 停泊中の船舶への陸上電力供給や、港を出入りする車両の低炭素化・脱炭素化
- ・ 水素・アンモニア等のバンカリングなど、新たなカーボンフリー船舶燃料への対応に向けた検討

目指すべき将来像②

ターミナル内の脱炭素化の取組を推進し、脱炭素社会の実現に貢献

目指すべき将来像②のための取組方針

② 脱炭素化された港湾ターミナルの形成

- ・ 太陽光発電など各企業が行う再生可能エネルギーの導入促進
- ・ 再生可能エネルギー由来電力への切替促進
- ・ ターミナル内の管理棟・照明施設等のLED化による省エネルギー化